

令和3年度事業報告

新型コロナウイルスとの共存、そして新たな生活様式を模索しつつ、シニアが健康で意欲を持ち、その蓄積した経験や技術を活かして地域社会の支え手となることにより、市民から信頼され魅力あるセンターをめざして事業を進めてきました。

令和3年度は ◆安全・適正就業の推進◆財政基盤の確立と事務の集中化◆会員拡大と就業開拓の推進 に重点を置き役職員が一体となり事業運営を進めてまいりました。

1. 安全・適正就業の推進

“クロスチェック” ”体系的な安全就業管理” 定着にむけ推進

会員の安全就業については「安全はすべてに優先する」を基本に、安全パトロールはクロスチェック方式（各班長委員による相互確認）を定着すると共に、除草・剪定班班長の安全宣言書を事務所掲示板に掲載し安全意識の高揚を図りました。

令和3年度も無事故無災害を目標に活動を推進しましたが、傷害事故については13件となり昨年度を6件下回りました。損害賠償事故については、飛び石事故防止に向けツインプレード（2枚刃式刈払機）の導入を進めましたが、未使用現場における飛び石事故はいまだ後を絶ちません。就業計画を体系的に管理し、危険予知情報の共有化（コトマエ管理）や安全対策チェックシートなど、ソフト面における対策も平行して実施しておりますが、まだ緒についたところであり今後も継続的な取り組みが必要です。

安全就業推進大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、テーマを交通安全と危険予知（KYT）トレーニングに絞り開催し110名の参加をいただきました。

また、東近江市SCをはじめとし先進的な活動を実践されているセンターとの視察交流などを通じ事業・適正就業活動へ反映してまいりました。

2. 財政基盤の確立と事務の集中化

“コロナを事業停滞の言い訳にしない”

事業の見える化と決算検討会の導入で事業は回復基調へ

令和3年度請負契約金額は4億5千万円（対前年プラス4.6百万円）で、公共事業は33.6%、民間企業は51.7%、一般家庭は14.7%となっています。配分金は3億91百万円（対前年プラス8百万円）となりました。

シルバー派遣事業は、役職員による積極果敢な就業開拓活動が功を奏し8,832万円（対前年プラス18百万円）となり新記録を達成することが出来ました。

「コロナを事業停滞の言い訳にしない」を合言葉に、職員一人ひとりが常に問題意識と使命感を持ち業務を遂行した結果、契約金額は令和2年度を底に回復基調に転じたと言えます。また、職員・事務局長・理事長による決算検討会を月次レベルで開催し、受託件名、収支分析など、課題と対策を共有し健全な財政運営に努めました。

年間契約額見通し策定と月次更新、受託件名管理など、「事業の見える化」が役職員の情報共有を促進し財政基盤の強化へと繋がってきております。

これらの活動と合わせ、管理基準の統一化を図り基幹業務をセンター（久保田町）に集約し地域軸から職群軸の運営へ第一歩を踏み出しました。

令和3年度月別派遣事業実績表

	派遣事業所数	就業実人員	就業延日人員	契約額 (円)
4月	24	98	1,399	6,601,758
5月	25	97	1,338	6,317,240
6月	32	104	1,468	6,850,424
7月	32	102	1,477	6,838,550
8月	32	93	1,417	6,493,008
9月	33	99	1,467	6,774,014
10月	34	105	1,497	7,134,658
11月	38	116	1,669	7,904,052
12月	36	196	1,660	7,920,573
1月	36	129	1,721	8,354,943
2月	39	133	1,597	7,634,454
3月	38	129	1,919	9,491,873
合計	—	—	18,629	88,315,547

3. 会員拡大の取り組み・就業開拓の推進

営業マインドを高めた職員の活動が着実に成果へ

会員拡大に向けてはまだ道半ば、魅力づくりに向けた活動も必要

正会員登録には就業が前提となる当センターにおいては、会員拡大と就業開拓は密接に関係しておりそれぞれ連動した活動が重要となります。

年度末会員数は、985名で前年度比3名の減少となりました。令和4年3月における松阪市の60歳以上人口（58,487人）に締める会員比率（粗入会率）率は、1.68%となります。全国平均に比べ高齢化が加速している松阪市においては、粗入会率の低下に対する歯止め策を講じることが喫緊の課題であります。

令和3年度新入会員は60歳から81歳と幅広く、平均年齢は70.3歳となっております。入会動機は「生きがい・社会参加」が38%と高い比率を占めていますが、「経済的理由」が14%となっていることは真摯に受け止める必要があります。

会員の紹介による入会者は、35人で昨年度比8人の増加となっております。これは、「一会員一人の入会声かけ運動」が徐々に実ってきている結果でもあり今後も継続的な活動として推進していきます。

仮会員から正会員へ転換を促進するためには、入会説明会（仮会員）から3カ月が重要な期間と位置づけております。このタイミングで仮会員に選択肢のある就業メニューを提供し円滑なマッチングを図っていくための継続的な活動が不可欠です。

令和3年度は前年度の活動を基盤としながら職員が営業マインドを高め日常的な就業開拓活動を展開しました。実行計画を「見える化」し、商工会議所、松阪市との連携のもと事業所へのアプローチを展開、訪問事業所数は29事業所、新規成約は10件となりました。発注者・利用者様のセンターに対するイメージも変化しつつあり、民間企業からの問い合わせも増加しております。

4. 普及啓発活動・補助事業の推進について

新型コロナウイルス感染症拡大により従来型の大規模なボランティア活動は自粛し、規模を縮小するとともに会場についても分散し活動を展開しました。

令和3年度のボランティア活動は下記の通りです。

月 日	実 施 場 所	活 動 内 容	参加者数
10月8日	第三小学校	美化活動	13名
10月12日	豊田小学校	美化活動	18名
11月21日	リバーサイド茶倉	香肌サイクリング大会案内係	7名
2月13日	松阪市市民駐車場	樹木伐採・美化活動	4名
10月1日 ～3月31日	特別養護老人ホーム さくらの郷	絵手紙の作成と展示	11名
10月1日 ～3月31日	特別養護老人ホーム さくらの郷	写真の展示	10名

定期的な入会説明会の開催（12回/年）については、新型コロナウイルス感染症の影響で事前予約制による人数制限により開催しました。また、緊急就業案内が発生した場合は臨時の入会説明会も開催しました。

センター魅力づくりの企画として「キャッチコピー」の制作募集をし、33名、90作品もの応募をいただきました。具体的な活用や展開については専門家のアドバイスもいただき令和4年度活動として推進をします。

また、全シ協発信による「ユニコロラボ企画」としてダウンジャケット回収活動や、シルバー人材センターを題材とした映画「キネマの神様」の広報活動も推進しました。

年度別入会説明会参加者、入会・退会者の推移

	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員
平成29年度	226人	150人	183人	992人
平成30年度	275人	149人	130人	1,011人
令和1年度	206人	159人	144人	1,026人
令和2年度	187人	134人	172人	988人
令和3年度	196人	138人	141人	985人

5. 福祉・家事援助サービス等の推進について

With コロナにおける事業として、松阪市から新型コロナワクチン接種会場における託児業務や、小学校での消毒作業の受託をすることが出来ました。

松阪市子育て重点政策に位置づけられている「放課後児童クラブ運営」への参画について教育委員会生涯学習課との協議に着手しました。

また、個人や高齢者家庭からの家事福祉援助サービスの注文も順調に増加しています。

このニーズは今後も続くと思われ、事業成長のために講習会や研修会にも三重県シルバー人材センター連合会と連携しながら積極的に参加していきます。